

神海丸だより

令和元年10月4日

第2号

9月28日（土）11：55に日付変更線を越えた神海丸は、東経から西経へ移動し、船内時間は日本時間より21時間の差があります。そして、9月30日（月）【日本時】よりマグロ操業が始まり、投縄から始まり揚げ作業までの同じ作業を繰り返す日々が続いています。

操業前事前指導

漁場に着くまでの間の本科生は、通常、午前中に学習、午後から海洋テクノコースとエンジニアコースに分かれて作業と学習を行っています。9月28日（土）に操業前の事前指導を行いました。本科生の作業である魚の体長の測り方、魚の尻尾に付ける縄の結び方、卵の測り方、ブラン（仕掛け）の縛り方等船員から教わり練習し操業に備えました。



大掃除

初縄前日の9月29日（日）は午前中に船内の大掃除を行いました。廊下・食堂のマットやトイレ・風呂のスノコを船首甲板で洗う係、廊下・食堂・トイレの天井から床までを雑巾で拭く係等各分担場所に分かれての作業となりました。生徒は専攻科生や船員に掃除のやり方を習い、丁寧に掃除を行っていました。



祝！初縄

9月30日06：00よりマグロ操業の投縄が始まりました。このことを初縄と言います。投縄作業は9：30頃終了し、その後、海洋観測、流し当直、14：00～18：30まで揚げ縄1作業、18：30～22：30まで揚げ縄2作業と続きます。今回は15回の操業を予定しており、例年に比べて少ない操業回数です。作業前には、乗組員、指導教官、生徒全員でミーティングを行い、安全第一で事故怪我のないよう気を引き締めます。

